

① クスノキ材活用提案のその後について

古来よりクスノキは芳香、防虫の効果が認められていますが、このクスノキの間伐材を用いて、町の特産品、イメージアップに繋げてはどうかとの町民からの提案を受け、令和5年12月議会の一般質問において、同趣旨の提案を行いました。

この提案に対し、検討や進捗はどうなっているのでしょうか。進展があれば伺いたく質問いたします。

② 公共交通対策について

本町の公共交通機関はタクシーの他、JR線、バス路線があります。

昨今、ダイヤ改正の度に減便の心配がつきまとい、実際に減便傾向が続いていると認識しています。交通機関の側は人員確保の難しさなどの事情があることは承知しているものの、本町で生計を維持している人にとって、減便は深刻な問題となっています。

路線の維持、拡充のためには国や県も含め広域的に協議を行い改善策を講じることが町民の願いであると思いますが、町の現状認識と改善の方策などはどのような状況でしょうか。

また、先日総務厚生常任委員会の視察先では、高齢者に押し並べて運転免許証の返納を促すのではなく、運転が可能な人へのサポートを行い、なるべく長期間自動車の運転を奨励する取り組みを行っている状況がありました。本町は地形的に住宅密集地以外に居住する方が少なくないため、このような取り組みは本町においても住民生活を守るためには極めて有効と感じました。そこで、警察などと連携協議し、可能なかぎり長く運転できるようにするための講習会などを検討してはいかがかと思いますがご所見をうかがいます。

③ 教育委員会が管理する基金について

教育委員会が所管する基金は、教育振興基金があります。以前は4つあったものを教育振興基金に一本化し、そこから土地開発基金へ約4億円を移し、その分も含め土地開発基金から図書館用地購入財源に充てたと認識しています。

当時2億円ほどに減った教育振興基金は、今後積み戻すことを役場内部で約束をし、現在、当該基金は10億円ほど積み増しができています。

しかし今後、図書館建設に一定額を充当すると想定しますが、以前あった義務教育施設整備や体育振興、文化振興などを目的とした基金が無いため、これらの目的に必要な予算、財源を懸念しています。

私は高齢者、障害者を排除しない手立てを取る前提で、新図書館は必要との立場であり、一定の財政負担と起債も必要とする立場ですが、私が懸念する点、すなわち図書館以外の教育関係予算への心配は無用なのか、あるいは、なんらかの策が必要であると考えているのかについて見解を伺います。